

# 全労金2021春季生活闘争ニュース・第22号

【全労金2021春季生活闘争統一スローガン】  
今こそ全国の仲間と思いをひとつに！心は密に団結を！

《合意速報No. 6》

## 北海道労組が金庫との団体交渉で、「基本合意」を表明しました！

北海道労組は、3月16日13時30分から、金庫と「団体交渉」を開催し、基本合意を表明しました。要求と回答は以下の通りです。

		要 求			回 答		
		正職員	パートナ- (P3)	パートナ- (P1P2)	正職員	パートナ- (P3)	パートナ- (P1P2)
基本賃金		定昇	定昇	定昇	要求通り	要求通り	要求通り
年間一時金		4.7	2.0	1.2	4.7	2.0	1.2
昨年実績		4.7	2.0	1.2	4.7	2.0	1.2
職場環境	ジョブリターン	ジョブリターン制度新設			要求通り		
	年休積立	使途に「更年期障害」を追加			要求通り		
男女平等	ハラスメント・差別	夫婦別姓（旧姓使用）			要求通り		
新型コロナ等対策		【申し入れ（関連会社）】 コロナ禍の労働環境について、引き続き 金庫・労働組合と連携した対応とすること			要求通り		

団体交渉において、金庫からは「2021春季生活闘争は、新型コロナウイルス感染症が拡大し、長期化する中での交渉になったが、労使双方で真摯に交渉を重ねることができ、合意できたと考えており、感謝申し上げたい。貴労組から要求については、概ね答えることができたと認識している。要求書受領の際、闘争委員長から挨拶があったが、『頑張っている職員に応えること』が重要であり、格差社会をなくすための公正な社会、そして持続可能な社会をつくっていくためには、人への投資が必要だと認識している。このような認識の下、本日の回答ができたと考えている。また、マイナス金利政策が続いている環境の中において、収益が下がることも想定され、コロナ禍での経営をどう進めていくかという課題も労使双方で共有する必要があると考える。今年は北海道労働金庫設立70周年であり、歴史的な年になるであろうと考える。北海道労働金庫設立の原点に立って、福祉金融機関として、会員組合員に信頼される、そして持続可能な組織として、未来につないでいくことが重要であり、そのために奮闘していきたいと考えている。それが、北海道労働金庫で働く職員のやりがいにつながり、組合員のやりがいでもあると考えるため、組合員の奮闘に期待したい」等の見解が表明されました。

奥井闘争委員長は、「間もなく2020年度を終えようとしているが、まずは、金庫経営陣の皆さんに対し、組合員・職員の生命と健康、そして雇用を最優先とした、金庫運営をいただいていることに、改めて、敬意を表するとともに、コロナ禍における労働対応について、最大限の配慮をいただいたことに、労働組合を代表して感謝を申し上げる。

そして、改めて、本春季生活闘争において、労働組合からの要求に対する回答に向け、真摯に検討を頂いたことに、心から感謝を申し上げる。回答内容は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、先行きが見えない、閉塞感がある中で、組合員の2020年度の頑張りを真摯に受け止め、この厳しい金融情勢において、すべての要求に対し、早急な判断、そして新たな制度構築のプロセスも含めた誠意ある回答は、今年度の職員の奮闘に報いるものだけではなく、70周年の節目を迎える新年度に向けた組合員に対する大きな期待と難局を乗り越える踏ん張りに期待を込めた、金庫経営陣からの大きなメッセージであると認識している。また、例年ではあるが、特に年間一時金の交渉における緊張感、組合員全体で共有し、次年度以降においても、厳しい交渉が続くことを、認識していきたいと考える。新年度は、短期経営計画における各種目標の達成に向け、全組合員が努力を惜しまず、そして、コロナ禍でありながらも、次期中期経営計画の構築に向けた重要な年度であると認識し、労使が一丸となって金庫の運営を進めていくことを改めて表明する。今後も連合に集う仲間や労働組合の社会的役割、そして全国の労金業態で働く仲間との共闘・連帯についても意識しながら、運動を展開していくこととあわせて、新年度からも、福祉金融機関としての社会的役割を担う、言わば『エッセンシャルワーカー』の一員として、組合員が一丸となり、ろうきん運動を展開していくことを約束したい」等を表明しました。

単組は、①要求項目に掲げた全ての項目において、労組の要求通りとする見解が金庫から示されたこと、②この間の金庫との交渉では、新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中において、置かれている環境の厳しさが増していることが示されつつもスピード感のある制度構築がされたこと、③今後も変異種等による新型コロナウイルス感染症の感染拡大が懸念される状況の中、金庫から示された回答は、金庫経営者からの組合員の今年度の頑張りに報いることや、次年度・未来への期待を踏まえたメッセージであったこと、等から基本合意を表明しました。

\*合意単組（5単組／3月16日17時現在）

近畿(金庫)・沖縄・長野・東北(金庫)・東北(関連)・北海道

以 上